

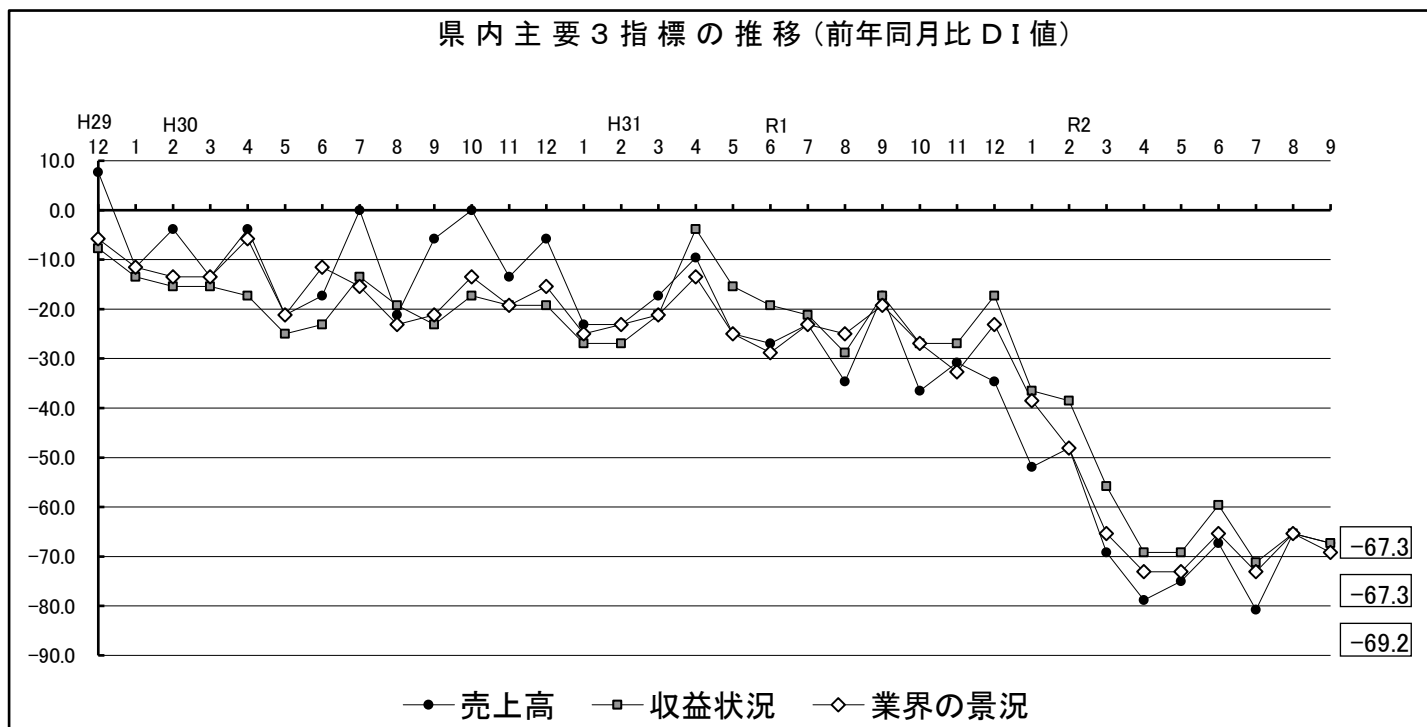
中小企業団体情報連絡員報告結果(令和2年9月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員5名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 主要3指標全てが下降、依然として新型コロナウイルスの影響が全業種的に及んでいる。
- 「繊維」「印刷」「一般機器」で特に悪化、非製造業では「サービス」「運輸」も厳しい景況感。
- 各種経済策の効果も現れつつあるが、先行きへの不安はこれまで以上に高まりつつある。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上高	-67.3	-1.9	-61.2	-1.4
収益状況	-67.3	-1.9	-58.7	1.8
業界の景況	-69.2	-3.8	-61.7	3.5

売上高

当月の県内売上高DI値は、前月より1.9ポイント下降し、-67.3ポイントとなった。全国においては、前月より1.4ポイント下降し、-61.2ポイントとなった。

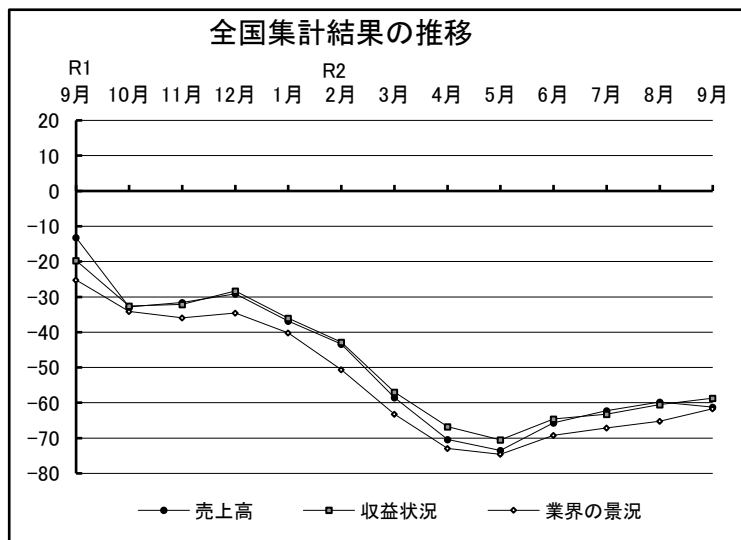
収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より1.9ポイント下降し、-67.3ポイントとなった。全国においては、前月より1.8ポイント上昇し、-58.7ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より3.8ポイント下降し、-69.2ポイントとなった。全国においては、前月より3.5ポイント上昇し、-61.7ポイントとなった。

全国集計結果の推移



-概況-

9月の前年同月比DI値は、前月と比べ9指標中3指標が上昇し、6指標が下降した。主要3指標は「売上高」「収益状況」が1.9ポイント下降、「業界の景況」が3.8ポイント下降した。依然、新型コロナウイルスの影響が全業種的に及んでおり厳しいマイナス状況が続いている。

業種別・指標別にみると、図表1のとおり、製造業全体に-100ポイントを示す項目が多く見られ、特に「繊維・同製品」「印刷」「一般機器」において悪化の度合いが強まっている。一方、非製造業では製造業に比べて-100ポイントを示す業種は少ないものの、「卸」「小売」が依然として厳しい業況を示しているほか、「サービス業」「運輸業」においても雇用人員や景況感に厳しさが現れている。

国等の各種経済対策の効果もあり、シルバーウィークでの観光地の賑わいなど、徐々に人や物が動き出してきたとの見方もあるが、まだまだ本来の状態には程遠いとの声も多い。GoToキャンペーン等、施策の恩恵を受けられるところと受けられないところの差が生じていることや、新型コロナウイルスの感染拡大も未だ収束の目途が立たない状況から、全体としては依然厳しい状況に変わりはない。赤字企業続出や倒産企業の増加を懸念する声もあり、このままどこまで耐えられるのか、先行きへの不安はこれまで以上に高まりつつあると言える。

図表1 【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-100.0	25.0	0.0	-25.0	-100.0	-75.0	-50.0	0.0	-75.0
繊維・同製品	-100.0	-50.0	-25.0	-50.0	-100.0	-100.0	-75.0	-50.0	-75.0
木材・木製品	-50.0	25.0	-25.0	0.0	-75.0	0.0	-25.0	0.0	-100.0
印刷	-100.0	0.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	0.0	-100.0
窯業・土石	-25.0	-50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0
鉄鋼・金属	-50.0	-25.0	0.0	0.0	-50.0	-25.0	-50.0	-25.0	-75.0
一般機器	-100.0	0.0	0.0	-25.0	-100.0	-50.0	-100.0	0.0	-100.0
製造業	-72.0	-12.0	-8.0	-20.0	-72.0	-44.0	-52.0	-16.0	-72.0
卸売業	-66.7	-33.3	0.0	-66.7	-100.0	-33.3		0.0	-66.7
小売業	-85.7	-42.9	14.3	-42.9	-85.7	-57.1		0.0	-71.4
サービス業	-66.7		-33.3	-33.3	-50.0	-50.0		-50.0	-83.3
建設業	-20.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		0.0	-20.0
運輸業	-75.0		0.0	0.0	-75.0	-50.0		-25.0	-100.0
その他	-50.0		0.0	0.0	-50.0	-50.0		0.0	-50.0
非製造業	-63.0	-40.0	-3.7	-25.9	-63.0	-40.7		-14.8	-66.7
全体	-67.3	-20.0	-5.8	-23.1	-67.3	-42.3	-52.0	-15.4	-69.2

図表2 【指標別DI値の推移】

特記事項

情報連絡員報告（令和2年9月分）

	元年 9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	前月 比
売上高	-17.3	-36.5	-30.8	-34.6	-51.9	-48.1	-69.2	-78.8	-75.0	-67.3	-80.8	-65.4	-67.3	-1.9
在庫数量	-8.6	-20.0	-14.3	-8.6	-5.7	-14.3	-5.7	-22.9	-5.7	-22.9	-17.1	-17.1	-20.0	-2.9
販売価格	3.8	3.8	3.8	3.8	-3.8	-3.8	-11.5	-7.7	-15.4	-13.5	-7.7	-7.7	-5.8	1.9
取引条件	-9.6	-9.6	-11.5	-9.6	-11.5	-11.5	-15.4	-23.1	-26.9	-19.2	-15.4	-21.2	-23.1	-1.9
収益状況	-17.3	-26.9	-26.9	-17.3	-36.5	-38.5	-55.8	-69.2	-69.2	-59.6	-71.2	-65.4	-67.3	-1.9
資金繰り	-11.5	-19.2	-13.5	-13.5	-19.2	-17.3	-38.5	-53.8	-55.8	-51.9	-51.9	-48.1	-42.3	5.8
設備操業度	-20.0	-16.0	-8.0	-12.0	-24.0	-24.0	-28.0	-64.0	-72.0	-56.0	-68.0	-56.0	-52.0	4.0
雇用人員	-1.9	-3.8	-7.7	-5.8	-5.8	-1.9	-3.8	-11.5	-11.5	-19.2	-15.4	-9.6	-15.4	-5.8
業界の景況	-19.2	-26.9	-32.7	-23.1	-38.5	-48.1	-65.4	-73.1	-73.1	-65.4	-73.1	-65.4	-69.2	-3.8

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	9月は当業界的には、彼岸等があり、物の動く時期であり、普段は例年の売り上げに近い。しかし、まだ地域（観光地・駅ビル等）によっては苦戦。
あん類製造業	政府の経済政策により、売上は増加傾向にある。只、昨年度と比べると10～15%のダウンとなる。
縫製業	秋物の売行が悪く追加もなく生産ロットも少なくなり、先行きが見えない。今までアパレルの生産数が多かったので、適量生産の傾向が強くなり益々厳しい状況である。
外衣・シャツ製造業	まだまだ最悪である。
染色整理業	近時一部分で最悪感は薄れたものが見える。しかし全体で厳しい状況下にある。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	本来であればトーション業界も本格的なシーズンインだが、時間が経過するにつれてドンドン業況は悪化しているように感じる。
一般製材業	新型コロナウイルスによる社会情勢の変化により、業界全体がダメージを受けているが、当組合としては当該影響をあまり受けていない。
家具・建具製造業	今後の回復ペースは極めて緩慢なL字型となる認識が共通となっている。7月～8月に見られた持ち直しも一過性との懸念が強まっている。赤字転落企業が続出する見込みである。
建具製造業	新型コロナウイルスの影響は、秋になっても続いている。仕事量は減少傾向のままである。
印刷業	今後も受注減は確実、資金繰りが厳しく回復には時間がかかる。倒産により組合員1社が脱退した。
石灰製造業	鉄鋼向けは、相変わらず減産傾向であるため、出荷減。肥料関係は、家庭菜園関係の小袋肥料が新型コロナウイルスの影響で、出荷増となった。建材関係は、ほぼ前年並みに推移。全体では、先月同様、鉄鋼向けの減少が大きく影響し減少している。
金属製品製造業	自動車メーカーからの受注状況は、各社毎に生産調整中のところ、回復してきたところ、変わらないところと様々である。家電関係では、冷蔵庫の受注は増加し、エアコン関連は減少した。
金属製品製造業	自動車部品関連・機械設備関連・プレス金型関連いずれも新型コロナウイルス、売上低下、人件費増加、人手不足により低下した。
一般機械器具製造業	今月も売上高の減少により収益状況悪化が継続中であるが、全般に回復の兆しもみられる。今後操業度低下により収益状況悪化懸念はある。引き続き新型コロナウイルスに関し今後の動向に注視し政府等の支援対応に期待する。
一般機械器具製造業	企業業績について若干の回復傾向がみられるものの、引き続き生産計画の見直し、設備投資計画の延期等の対応が強いられている。
一般機械器具製造業	相変わらず、好転はしない状況が続いている。我々実習生受入事業を行っているものには、在留期限の過ぎた実習生の負担も大きくなってきている。
各種商品卸売業	9月以降新型コロナウイルスの影響を大きく受けていた企業も企業努力や取引業界の状況改善により若干回復の傾向がみられる。しかし、全体的には依然として厳しい状況は変わらない。
食肉小売業	新型コロナウイルスの影響で、家庭内食が増え、スーパー・小売関係は例年並みで推移している。外食レストラン・ホテルは、少し動き出した程度で、全体の消費は、かなり減少している。

各種商品小売業	景気の回復を見る事が出来ない9月期であった。物販店の落込みは20～30%変わらず、又、飲食店も「食ベトクチケット」等期待した見込みもチケット販売終了と共に落ちているとの事。GOTOイートに期待を持っているが、効果はまだわからない。
各種商品小売業	8月に再び売上が悪化してしまい、不安な状況ではあったが、やはり9月も非常に厳しい数字になってしまった。シルバーウィークで観光地にはぎわいを見せていたようだが、観光客相手の施設でもなく、恩恵を受けるには至らなかった。先が見通せない。
花・植木小売業	先月のお盆同様、長梅雨や局地的な大雨、また梅雨明け後の高温による障害から菊類を中心に市場への入荷量は少なく、全国的に品薄高値状態が続いた。一方、今年のお彼岸は敬老の日も重なり小売りの売れ行きは順調であったが、全体としてはなお厳しい状況にある。
理容業	新型コロナウイルス感染症の影響により、来客数は減少し、それに伴い減収となっている。業界ガイドラインに沿って、マスク・フェイスシールド着用の上、消毒等も更に徹底して行い、業界からの感染を阻止出来ればと考えている。
自動車整備業	人員の減少による売上高の減少も考えられる。技術職の採用が困難である。
旅館・ホテル	新型コロナウイルス感染拡大により、宿泊は前年対比70%まで戻ってきたが、アベレージは1,000円以上下がったままであり、まだまだ非常に厳しい状態。宴会は100%ダウン。飲食店は40%ダウン。
ビルメンテナンス業	宅配関係の庫内請負業務が順調であり、増収増益となっている。福祉用具レンタル事業も受注が増えている。
給食センター	売上高は、新型コロナウイルスの影響で、数ヶ月間は昨年度より大幅に減少となったが、新規事業を開始したため、今月は少し回復した。雇用の確保、事業の継続をするためのキャッシュフローは、国・県の制度融資でなんとかなっているが、新型コロナウイルスが終息せず、このまま続けば収益・資金も危うい。
内装工事業	経済活動を優先させた政府の施策が浸透しつつはあるものの、当業界においては未だ結果として表れておらず、先行きの見通しは依然暗いものがある。
一般貨物自動車運送業	新型コロナウイルスの影響による便数減少により、収入が減ってしまったため、支払いが難しくなっている。従業員の給料についても、減額しなければならない状況になっており、役員報酬もカットしている状況である。
貨物軽自動車運送業	本来であれば9月決算のお客様からの受注で配車におわれる月であるが、8月と同等くらいの動きにとどまった。企業における人事異動の時期なので引越しの依頼が多数あったが、スポット、チャーターの依頼は鈍く、新規のお客様は無しである。ギリ貧の状況で組合員個々の財力がどこまで耐えられるかが心配である。
一般乗用旅客自動車運送業	未だに厳しい状況下に変わりはないが、9月末頃から市、県、国等のキャンペーンが功を奏してか景気回復とまではいかないが、少し上向きになってきている状況である。
大谷石採石業	景気の回復まで程遠い状況といえる。